

独立役員届出書

1. 基本情報

会社名	クオールホールディングス株式会社			コード	3034
提出日	2021/6/3	異動（予定）日	2021/6/29		
独立役員届出書の提出理由	定時株主総会に社外役員の選任議案が付議されるため。				
☒ 独立役員の資格を充たす者を全て独立役員に指定している（※1）					

2. 独立役員・社外役員の独立性に関する事項

番号	氏名	社外取締役／社外監査役	独立役員	役員の属性（※2・3）													異動内容	本人の同意
				a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	該当なし		
1	窪木 登志子	社外取締役	○										○					有
2	山本 行治	社外取締役	○													○		有
3	武士俣 充	社外取締役	○										△				新任	有
4	宮崎 源征	社外取締役	○													○	新任	有

3. 独立役員の属性・選任理由の説明

番号	該当状況についての説明（※4）	選任の理由（※5）
1	同氏が代表を務める窪木法律事務所と当社との間には、業務委託に関する取引がありますが、同事務所との取引額は当社連結売上高の0.01%未満であるため、同氏の独立性に問題はないと判断しております。	同氏の、弁護士としての高度な専門知識を、当社の経営に反映していただけることが期待できるものと判断しております。独立役員の指定にあたり、同氏は一般株主との間に利益相反の生じる恐れがなく、独立性に問題はないと判断しております。
2		同氏の、税理士としての高度な専門知識を、当社の経営に反映していただけることが期待できるものと判断しております。独立役員の指定にあたり、同氏は一般株主との間に利益相反の生じる恐れがなく、独立性に問題はないと判断しております。
3	同氏は、当社の取引先である野村證券株式会社の出身であります。2013年6月に退職しております。	同氏は、長年にわたり資本市場関連業務に従事し、コーポレートガバナンス及び内部統制システムの構築・運用に関する知識と経験を有しており、当社の持続的な企業価値向上に中立・公正な立場から妥当性・適正性確保においての貢献が期待できるものと判断しております。独立役員の指定にあたり、同氏は一般株主との間に利益相反の生じる恐れがなく、独立性に問題はないと判断しております。
4		同氏は、他の企業において代表取締役としての企業経験を有しており、その豊富な経験と幅広い知識を、公認会計士としての高度な専門知識とともに、当社の監査業務に反映していただけることが期待できるものと判断しております。独立役員の指定にあたり、同氏は一般株主との間に利益相反の生じる恐れがなく、独立性に問題はないと判断しております。

4. 補足説明

※1 社外役員のうち、独立役員の資格を充たす者の全員について、独立役員として届け出ている場合には、チェックボックスをチェックしてください。

※2 役員の属性についてのチェック項目

- a. 上場会社又はその子会社の業務執行者
- b. 上場会社又はその子会社の非業務執行取締役又は会計参与（社外監査役の場合）
- c. 上場会社の親会社の業務執行者又は非業務執行取締役
- d. 上場会社の親会社の監査役（社外監査役の場合）
- e. 上場会社の兄弟会社の業務執行者
- f. 上場会社を主要な取引先とする者又はその業務執行者
- g. 上場会社の主要な取引先又はその業務執行者
- h. 上場会社から役員報酬以外に多額の金銭その他の財産を得ているコンサルタント、会計専門家、法律専門家
- i. 上場会社の主要株主（当該主要株主が法人である場合には、当該法人の業務執行者）
- j. 上場会社の取引先（f、g及びhのいずれにも該当しないもの）の業務執行者（本人のみ）
- k. 社外役員の相互就任の関係にある先の業務執行者（本人のみ）
- l. 上場会社が寄付を行っている先の業務執行者（本人のみ）

以上のa～lの各項目の表記は、取引所の規則に規定する項目の文言を省略して記載しているものであることにご留意ください。

※3 本人が各項目に「現在・最近」において該当している場合は「○」、「過去」に該当している場合は「△」を表示してください。近親者が各項目に「現在・最近」において該当している場合は「●」、「過去」に該当している場合は「▲」を表示してください。

※4 a～lのいずれかに該当している場合には、その旨（概要）を記載してください。

※5 独立役員の選任理由を記載してください。